



1 課題

- ① 桟橋の改修、公共交通と安芸津港の接続、放置艇対策等の取組みが必要。
- ② 港湾施設の維持管理、災害時のネットワークづくり、沿岸地域の安心安全の実現に向けた安芸津港湾沿岸地域再生ビジョンが必要。
- ③ 訪問者に向けた安芸津の歴史的なコンテンツの整理や、訪問当日の受入れ態勢整備が必要。

2 概要

地図資料や文献資料から歴史的にその場所を読み、徹底したヒアリングを行い、様々な視点から安芸津地域の本質的な価値を検証する。



大学

樋渡 彩

近畿大学
工学部建築学科 講師

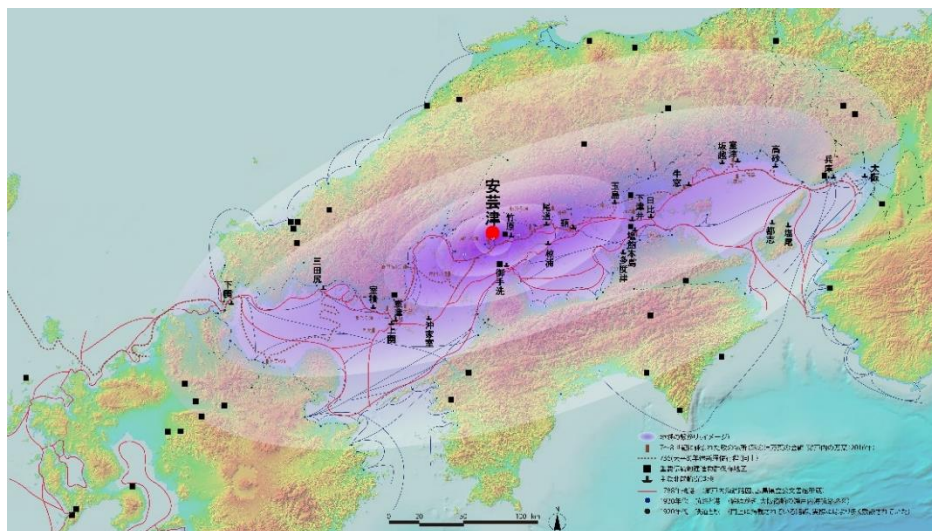
吉谷 公江

近畿大学
工学部建築学科 講師

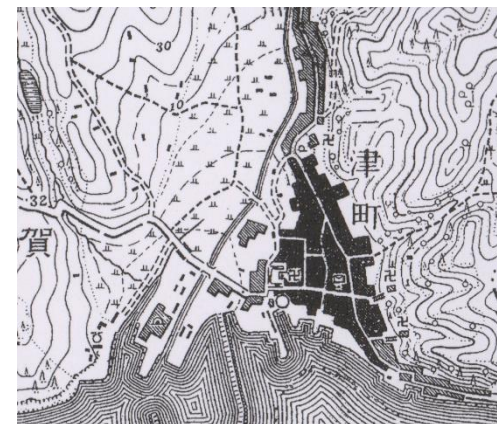
×

市担当課

建設部技術企画課

地域振興部安芸津支所
産業部ブランド推進課

▲安芸津を中心としたテリトリー（地域）のひろがり



▲年代ごとの安芸津の地図（1898年）

3 到達目標・方法

- (1) 安芸津における地域特性を発見するため、地図資料や文献を収集、フィールドワークを実施
- (2) 広範囲からの地域特性を把握するため、収集した資料やヒアリング結果から他地域とのつながりを検証

- ・ 安芸津地域の歴史的な特性や地域の個性を、魅力ある文化的コンテンツとして整理し、地域への訪問者増加につなげることで、地域活性化に貢献する。
- ・ 広島県が促進しているクルーズ船による外国人観光客の誘客などに向けて、港の多様な活用方法の検討につなげる。